



様々な物資が積み込まれるコンテナを専門にあつかうふ頭。積み込み及び取卸し機械である大型ガントリークレーンが設置されています。



船と岸壁の間において、接岸の衝撃をやわらげます。



ロープによって船を岸壁につなぎとめます。



車が海に落ちないようにします。

工業地帯 (コンビナート)

製鉄所、火力発電所などがあり、わが国の産業を支えています。

マリーナ

ヨットなど小型船の停泊地です。

泊地

船が安全に停泊するための水域です。

港にはどのようなものがあるの



防波堤

波が港の中に入ってくるのを防ぎます。これによって港の中が穏やかに保たれているのです。



鉄筋を組んで作るコンクリート製の大きな箱。写真のケーソンは重さ8000トンで、6階建てビルと同じくらいの大きさ。いくつか沈めて防波堤などをつくれます。(海中にほとんど沈んでしまいます。)



波の力を吸収するためのコンクリート・ブロック。大きなものは80トンの重さがあり、高さは6mくらいです。



灯火によって船に位置を知らせたり、航路を指示したりする標識です。



港では、家庭から出されるゴミなどの廃棄物を受け入れています。東京港を始め全国の港で東京ドーム約25杯分の廃棄物も受け入れることが見込まれます。



人や車両をたくさん運べるフェリーのふ頭。全国各地に定期航路があります。



ブイとよばれる海の標識です。

信号所

海上の船に入出港のためのいろいろな信号を送ります。



みなと 港のすがた

まわりを海に囲まれたわが国では、港は日本全国や世界に開かれた玄関です。様々な地域から人や物資が集まってくる港は、どんなすがたをしているのでしょうか。さあ、港へ出かけてみましょう。

制作協力 国土交通省港湾局

世界からの物資が運び込まれ、出ていく港では、大小の船をはじめ、防波堤や灯台、コンテナや巨大なクレーンなどの機械を見ることができます。広い埋立地や自然を活かした海浜公園もあります。外国から届いた原料を加工する工場や発電所だってあります。